

大好き!安曇野

安曇野市誕生10周年を記念して、市民の皆さんから安曇野市へ、多くの心温まるメッセージをお寄せいただきました。

※名前が記載されていない箇所は匿名希望です。

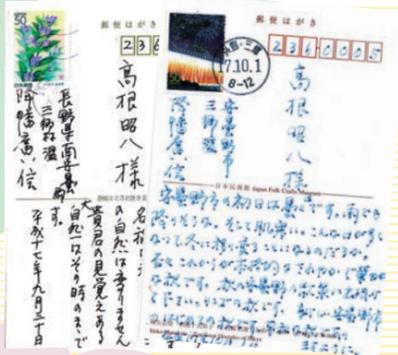
「たまねぎ」も「わさび」も「リンゴ」..もみんな、私のまちの特産になりました。

平成生まれの私だけど、友だちに誇れる 自然豊かな安曇野のこと

安曇野と聞くと甦るあの感動「また行こう」そんな市でありたい。

安曇野は、自然と文化に恵まれて、アルプスの懐に守られ、豊富な湧き水、わさび田を潤し、堰の水は、田園地帯を潤す。
小福敬子さん(豊科)

三郷温在住の降幡廣信さんが、10年前に横浜市在住のいとこの高根昭八さんに送った2通のハガキから「中略…明日から新しい安曇野市です。名称は変わってもこの自然は変わりません。」(H17.9.30)
「安曇野市の初日は曇りです。雨でも降りそうな、そして肌寒い。中略…これからは本格的なさわやかで華やかな秋です。リンゴの秋です。新しい安曇野市のはじめての秋です。平和の秋でありますように。」(H17.10.1)



松枯れ材を使って地域の皆さんと一緒にかんだち山でアスレチックランドやベンチ作りに取り組んでいます。
明北小学校6年代表の皆さん

Message

安曇野市ふるさと観光大使
株式会社中村屋
代表取締役社長 鈴木達也さん



良好な関係をこれからも大切に

安曇野市は創業者の出身地であり、非常に大切な場所です。山々を含めた絶景や自然の中の空気感が印象深く、毎年訪れています。豊富な資源を大切に、今後一層栄えることを祈念します。安曇野の農産物を使った商品販売やカレーを通じた子どもたちとの交流など、これまで築いたつながりをこれからも大切にします。

父さんが育ったこのまち
僕も好き
常念が見えるこのまち
僕のもの

横浜暮らしを4年、でも、ふるさとに戻ってきたよ、大好きな安曇野へ

市になって感動した一つ、アルプス花街道です。もう10年参加しているよ。

すごい「残したい 静けさ 美しさ」って安曇野のパノラマだったんだ。

あなたの笑顔と 緑のにおい何気ない毎日があるこのまちが大好きです。

広い大地 豊かな自然をありがとう
まばゆい緑 透きとおった真水をありがとう
いつかふるさとに帰ります

市歌は、最初リズムが取りづらく難しかったですが、サビの部分は、歌っていても気持ち良かったです。これからも練習をして歌っていきたいと思います。
三郷小学校 合唱部
部長 曾山ちはるさん(左)
副部長 務基結月さん(右)



新しいまちはいいよね
だって僕らでまちの彩を塗ってイけるから

豊かな自然環境を将来まで残し、子どもたちが伸び伸びと育つ地域であってほしいです。
「安曇野市最高です!」
浅川八志呂さん(堀金烏川)



おてんとうさま
北アルプスさま
市制10年に成長し、安全、安心ありがとう。
川上康子さん(穂高柏原)

安曇野の人の温かさや季節の移ろい、豊かな自然が大好きです。自然と調和したまちの魅力を生かした創作をしていきたいです。
あづみ野ガラス工房(左から)
三好愛音さん
池内康祐さん
八重樫祐未さん
吉岡百合絵さん(豊科南穂高)



数年前に子育て環境の整った安曇野市に東京から来ました。子どもの頃、両親と北アルプスによく登山しましたが、娘が成長したら、一緒に山に登ることが私の夢です。
山崎裕美子さん
実千穂ちゃん(穂高)



知る人ぞ知る安曇野は山美しく水澄むところ
吉川ミサ子さん(三郷明盛)

病い 光失うも
あなたの薫るこのまちで
最期まで生きてみせます

Message

安曇野市ふるさと観光大使
ハーブ奏者 上松美香さん

早春賦、そして安曇野の自然を未来の子どもたちへ♪
アルパを演奏するきっかけは、早春賦祭り。音楽活動の原点です。田が温み土の匂いがする春、緑ざわめき風の香りがする夏、どこからか音楽が聞こえてくる秋、三九郎の冬など、どこにいても、何をしていても季節を感じられる安曇野。生きる源でエネルギーを肌で感じます。早春賦、そして安曇野の自然が、未来の子どもたちへ引き継がれてほしいです。



AZUMINO City 10th ANNIVERSARY

大好き!安曇野

祝「安曇野市5地域集い10周年」
豊かに実り未来へ出発進行
島田貴安さん(豊科南穂高)

創ろうよ ぼくたちのまちを
こころひとつに 未来のために

熱く燃えたあの日から 前進も後退も個々の活動からと信じて進む。
中横富美恵さん(豊科高家)

頂にひろがる夢
好きです
そよ風の安曇野市
加々美 弘さん(明科中川手)

安曇野は山と緑多い田園風景に豊かな清流で心安らぐところです。
沓掛 清さん(穂高有明)

心一つに結ばれた田園都市
農工商を盛り上げて共に進もう 安曇野市
小倉信明さん(豊科田沢)